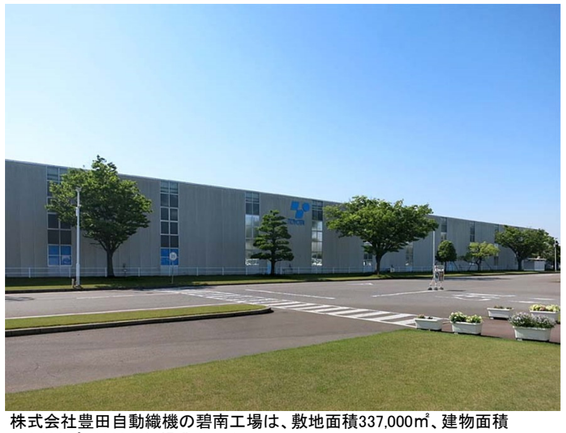
株式会社豊田自動織機 碧南工場

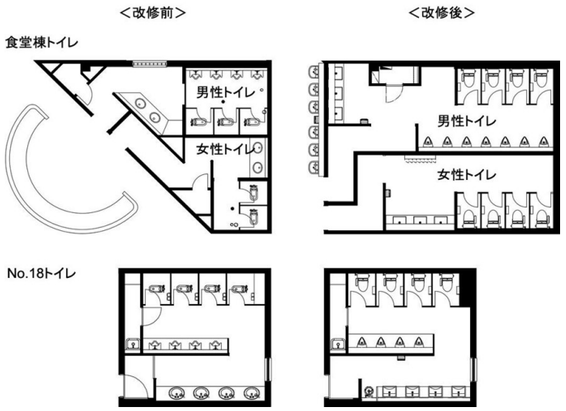
TOTO

外観



株式会社豊田自動織機の碧南工場は、敷地面積337,000㎡、建物面積178,000㎡。1982年に操業を開始。
自動車用・産業用エンジンの生産を主軸としている。

トイレ図面



食堂棟　女性トイレ

女性トイレの洗面コーナーには、女性従業員からの要望に応え、私物を置ける、小物入れを設置。

No.18トイレ　入口

工場内に設置されたトイレ。
工場内トイレの使用特性として、利用が10分間の休憩時間の集中する。

改修前

経年劣化が見られる改修前のトイレは、壁・床ともにタイル仕上げ。
大便器はすべて和式便器を設置し、床を水で濡らす湿式清掃が行われていた。今回の改修で洋式便器を設置、床の乾式清掃化を実施。

食堂棟トイレ　入口

食堂の手前に位置するため、トイレ前には手洗い器を多数設置。
トイレ入口は男女トイレを区別しやすいように、目立つカラーで色分けしている。

No.18トイレ　洗面コーナー

従業員にとってリフレッシュできる空間となるように、外光を取り入れ、内装は明るく清潔感に満ちた木目調を採用。

No.18トイレ　大便器・小便器

大便器は、休憩時間の集中利用にも対応できるように、連続洗浄可能なフラッシュタンク式便器を採用。

食堂棟　男性トイレ　洗面・小便器

洗面は、ドライエリアがあり、小物を置けるツインデッキカウンターを採用。
小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式小便器を設置。足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用。

食堂棟　男性トイレ　大便器ブース

大便器ブースは、濃い木目調の落ち着いた雰囲気。
ブース内での転倒や万一のトラブルに備え、外開きも可能な扉を採用。
大便器はすべて洋式便器を採用しウォシュレットを設置。

建築概要

名　　称	株式会社豊田自動織機 碧南工場
所 在 地	愛知県碧南市浜町3番地
施　　主	株式会社豊田自動織機
設　　計	株式会社豊田自動織機
施　　工	株式会社エスケイエム
竣工年月	（改修）2017年6月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
株式会社豊田自動織機は、1926年、創業者豊田佐吉氏が発明した自動織機の製造・販売を目的として創立。日本が世界に誇るトヨタグループの本家という存在の企業である。創立以来、多角化を進め、繊維機械や自動車（車両、エンジン、カーエアコン用コンプレッサーほか）、産業車両、エレクトロニクスへと事業領域を拡大。愛知県の三河地方において、1982年に操業開始された碧南工場は、従業員数約1900人を擁し、現在、自動車用・産業用エンジン、ターボチャージャーの生産を行っている。2016年度より順次、大便器の洋式化や清潔性を保つ維持メンテナンスに向けた床の乾式化を進めている。

＜トイレの特長＞
トイレ改修にあたっては、従業員の要望を取り入れながら、他のトヨタグループ企業の改修事例を参考とした。今回の改修工事では、食堂棟と工場内No.18トイレを含む7カ所の改修を実施。従業員にとって快適に利用できるトイレを目指して、女性トイレ内には、女性従業員から要望が多かった小物入れを設置。合わせてNo.18トイレには、休憩時間の集中利用に対応できるように、連続洗浄が可能なフラッシュタンク式便器を採用。このトイレ改修の結果は、従業員の満足度向上に寄与している。

2017.08 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2017 All Rights Reserved　31026